

2023年度 環境経営レポート

活動期間：2023年4月 ～ 2024年3月



★2019年から地域貢献の一環として社屋イルミネーション実施



スヤマビルドサービス株式会社

浜松市中央区西山町 1830-2 〒432-8001 TEL (053) 485-5600 (代)
URL <http://www.suyama-build.co.jp>

発行日：2024年5月1日

目次

(全 12ページ)

ご挨拶	1頁
事業活動の概要	2-3頁
環境経営方針	4頁
主な環境負荷と環境経営目標	5頁
環境経営目標とその実績	6頁
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7-8頁
活動報告	9頁
参考資料	10頁
環境関連法規への違反・訴訟の有無	11頁
代表者による全体評価と見直し結果	12頁

ご挨拶



今年度は新型コロナウイルスの行動制限が緩和され、感染症対策と経済活動の両立が進み、企業収益・個人消費の持ち直しの動きが見られました。

当社としましては営業地域拡大のため、営業活動・情報収集を強化し東遠地域にて新規顧客を獲得し、施工実績を増やしてまいりました。

来期も原材料やエネルギー価格の高止まりが予想されますが、新中期経営計画UPDATE2025に掲げております補助金を活用した省エネ提案を強化し、地球環境やSDGsに配慮した提案営業をすることにより、地域のお客様との継続的な関係を深めてまいります。

また、若手社員の環境に対する教育を重視し、環境活動への参加が活発化するよう育成します。さらに協力会社への教育と指導に力を注ぎ、施工パートナーとしての協力体制を整えて、この地域の省エネやより良い環境づくりに貢献してまいります。

会社沿革

代表取締役社長 高林 宏

昭和58年4月	創業
昭和61年8月	浜松市西山町1830-2に社屋を移転
平成元年9月	資本金2,000万に増資
平成28年3月	新社屋完成

業務内容

資格保有者

<リフォーム&メンテナンス>建物の維持修繕	
1 建物の改修工事	
戸建住宅、マンション、アパート、オフィス、店舗、工場、病院、金融機関、ホテルや旅館などの増築・改築・内外装工事、修繕・補強工事、付帯設備（電気・空調・給排水）工事、エクステリア（フェンス、駐車場等）工事	
2 建物の維持管理	
24時間体制で建物管理を実施。貯水槽、消防設備、下水管などの清掃業務、給排水、衛生設備、電気、消防設備の修理、緊急対応	
3 建物の点検・診断・調査	
須山建設で施工した賃貸マンションの無料7年目点検、戸建住宅の耐震補強診断、老朽化診断、委託されたマンションの定期設備（電気・空調・給排水）調査	
<新築>建物の新規建築	
企業・法人・公共建築および戸建住宅、マンションなど各種建物の新築工事	

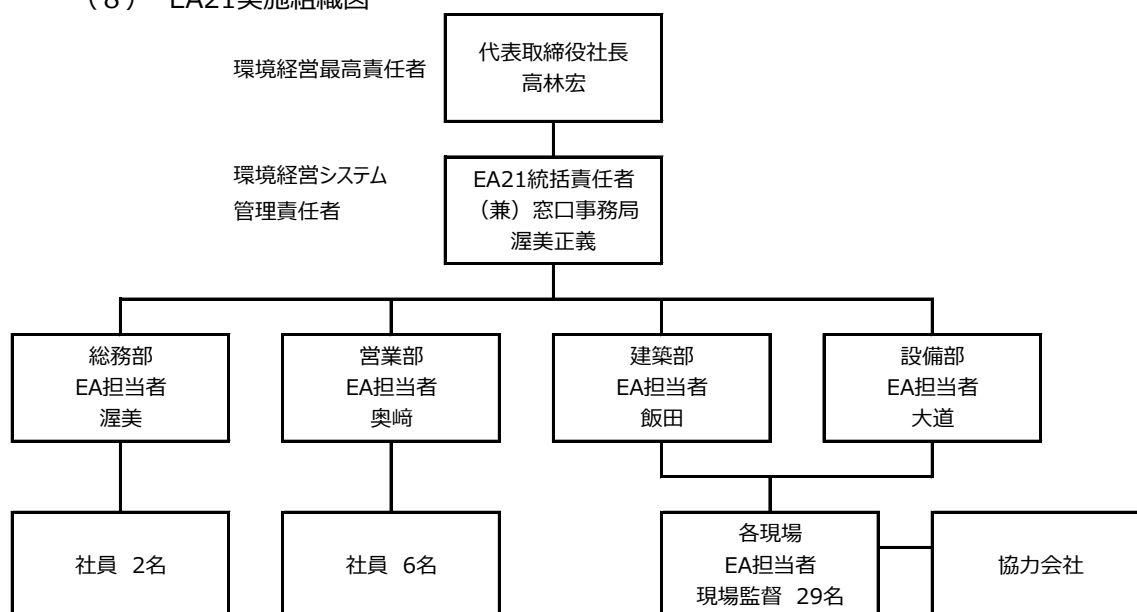
1級建築士 5名
1級建築施工管理技士 9名
1級土木施工管理技士 2名
1級管施工管理技士 5名
1級電気施工管理技士 3名
第1種電気工事士 2名
V Eリーダー 19名

1.事業活動の概要

- (1) 事業社名及び代表者氏名
スヤマビルドサービス株式会社
代表取締役社長 高林 宏
- (2) 所在地
〒432-8001
静岡県浜松市中央区西山町1830-2
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当連絡先
環境管理責任者 渥美 正義 soumu@suyama-build.co.jp
事務局 渥美 正義
連絡先 TEL 053-485-5600 FAX 053-485-3455
- (4) 認証・登録の対象活動範囲
建設業（18業種）
建築、土木、大工、とび土工、屋根、電気、管、タイル・レガ・ブロック
鋼構造物、舗装、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、建具、水道施設、解体
建設業許可番号 静岡県知事許可（特－3）第22410号
有効期間 令和8年8月14日
- (5) 事業規模

	2021.3月期	2022.3月期	2023.3月期	2024.3月期
完工高	1,520百万円	1,784百万円	1,688百万円	1,798百万円
完成工事件数	1,720件	1,631件	1,588件	1,557件
従業員	38名	37名	40名	42名
本社床面積	729㎡	729㎡	729㎡	729㎡

- (6) 設立年月日 昭和58年 4月
- (7) 対象事業所の範囲 スヤマビルドサービス株式会社 全部門
- (8) EA21実施組織図



1.事業活動の概要

(9) 2023年度 実施体制

取組項目	担当部署	担当責任者
環境に配慮した省エネ提案	建築部	飯 田
	設備部	大 道
	営業部	奥 崎
グリーン購入に配慮する	建築部	飯 田
	設備部	大 道
	営業部	奥 崎
	総務部	鈴 木
産業廃棄物の削減	総務部	鈴 木
co2 削減	総務部	渥 美
グリーン購入・水削減	総務部	鈴 木
地域貢献	総務部	渥 美

組織名及び担当	役割・責任・権限
環境経営最高責任者 高 林 宏	(イ)環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。 (ロ)環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経費所資源（人材・資金・機械設備・技術技能を含む）を準備する。 (ハ)環境経営に関する基本理念・長期戦略・基本方針を制定し、基本的な環境目標設定する。 (ニ)環境システムの構築・運用に関する情報を収集し、方針・目標をはじめ、システム全体の見直しを行う
環境管理責任者 渥 美 正 義	(イ)環境経営システムの構築・運用と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのためにその構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。 (ロ)各部門の全体を統括して、全員参加による環境経営システムの運用と改善を推進する。全体計画の立案。文書の作成、管理。一般教育の実施等。 (ハ) 対外的な窓口として兼務する。
各部門長	(イ) 全社の環境目標の一部の担当とともに自部門の計画・立案し、実施状況の確認をする。
一般従業員	(イ)部門長の指示に基づき協力して目標達成のために行動する。

2. 環境経営方針

私たちは 全ての事業活動を通じて環境への負荷を最小限に抑え、地域社会のよりよい環境づくりを目指して積極的に活動します。そのために以下の事項について重点的に取り組みます。

1. 環境に配慮した建築物、リフォーム工事の提供を通じ、お客様の環境保全活動の支援と地域の環境改善に努めます。
2. 環境経営の改善を継続的に実施します。
3. 環境に関する法規則等の遵守を徹底します。
4. 環境保全活動を推進し、持続的発展が可能な地域社会の実現に向けて努力します。
5. 省エネルギー・省資源活動を推進します。
6. 廃棄物削減、再資源化を推進し、循環型社会の実現に貢献します。

制定 2007年10月24日

改定 2020年 4月 1日

2021年10月 1日

静岡県浜松市中央区西山町1830-2
スヤマビルドサービス株式会社
代表取締役社長 高林 宏

3. 当社の主な環境負荷

当社の主な環境負荷については、①二酸化炭素排出量 ②廃棄物等排出量と捕らえております。

本年度の「二酸化炭素排出量」「廃棄物等排出量」については下表の通りです。

※以下記載の二酸化炭素排出量算出は、中部電力ミライズ(株)のR5.1月公表調整後排出係数の0.382kg-CO₂/kWhを使用。

【二酸化炭素排出量】 単位：kg-CO ₂	全社	割合	事業所	現場
電力	14,938	29%	11,143	3,796
ガソリン	33,417	65%	5,464	27,953
軽油	3,437	7%	0	3,437
その他	0	0%	0	0
合計	51,793	100%	16,607	35,186

【産業廃棄物等総排出量】 単位：t	全社	割合	事業所	現場
産業廃棄物再資源化量	781.6	88%	2.6	779.0
産業廃棄物最終処分量	106.0	12%	0.0	106.0
合計	887.6	100%	2.6	885.0

4. 環境経営目標

次年度以降の中期計画は別紙の通りです。目標削減値は過去3カ年平均値を基準とします。

項目			単位	過去 3 カ年 平均値	中期目標			
					R5年度 R5.4-R6.3	R6年度 R6.4-R7.3	R7年度 R7.4-R8.3	
た 環 省 境 工 に ネ 配 提 慮 案 し	①【建築部】 環境改善(省I ₁)提案		件	11	11	12	13	
	②【設備部】 LED・省エネ空調・節水トイレの提案		件	180	180	183	186	
	③【営業部】 省エネ・廃棄物排出量の削減		件	72	72	73	74	
グ リ ン 購 入 に 配 慮 す る	①【建築部】 再生砕石の利用		件	58	58	58	58	
	②【設備部】 再生管材、砕石の利用		件	28	28	28	28	
	③【営業部】 砕石、再生木質ボード等の採用		件	62	62	62	62	
維 持 管 理 項 目	廃棄物リサイクル率		%	83%	83%	83%	83%	
	二 酸 化 炭 素 削 減	C O ₂ 排出量の削減 合計		kg-CO ₂	57,355	(△1%) 56,781	(△1%) 56,213	(△1%) 55,651
		主 な 内 訳	①電力	kg-CO ₂	16,210	(△1%) 16,048	(△1%) 15,888	(△1%) 15,729
			②ガソリン	kg-CO ₂	38,421	(△1%) 38,037	(△1%) 37,657	(△1%) 37,280
			③軽油	kg-CO ₂	2,604	(△1%) 2,578	(△1%) 2,552	(△1%) 2,526
		水使用量の削減		m ³	556	(△1%) 550	(△1%) 545	(△1%) 540
	地域貢献		回	4	4	4	4	
	原 単 位	施工高/百万円当り						
① C O ₂ 排出量の削減		kg-CO ₂	34.42	(△1%) 34.08	(△1%) 33.74	(△1%) 33.40		
施工高			百万円	1,672				

5. 目標に対する実績

項目		単位	前年度	目標値	今年度	達成率	判定		
			R4年度 R4.4-R5.3		R5年度 R5.4-R6.3				
た 環 省 境 工 に ネ 配 提 慮 案 し	①【建築部】 環境改善(省エネ)提案・受注	件	12	11	14	127%	◎		
	②【設備部】 LED・省エネ空調・節水トイレの提案	件	183	180	183	102%	◎		
	③【営業部】 省エネ・廃棄物排出量の削減	件	72	72	74	103%	◎		
グ リ ン 購 入 に 配 慮 す る	①【建築部】 再生砕石の利用	件	74	58	60	103%	◎		
	②【設備部】 再生管材、砕石の利用	件	30	28	31	111%	◎		
	③【営業部】 砕石、再生木質ボード等の採用	件	59	62	63	102%	◎		
維 持 管 理 項 目	産業廃棄物リサイクル率		%	78%	83%	88%	106%	◎	
	二酸 化炭 素削 減 主 な 内 訳	C O ₂排出量の削減 累計		kg-CO₂	54,676	56,781	51,793	110%	◎
		①電力	kg-CO₂	16,360	16,048	14,938	107%	◎	
		②ガソリン	kg-CO₂	35,827	38,037	33,417	114%	◎	
		③軽油	kg-CO₂	2,206	2,578	3,437	75%	△	
	④【総務部】 事務用品のグリーン購入又は配慮		継続	購入時継続 配慮の実施	継続配慮	購入時継続 配慮の実施	100%	◎	
	水使用量の削減		m³	476	550	680	81%	○	
地域貢献		回	5	4	4	100%	◎		
原 単 位	施工高/百万円当り								
	① C O ₂排出量の削減		kg-CO₂	33.24	34.08	28.81	118%	◎	
施工高		百万円	1,645		1,798				

※判定は達成率が70%未満の場合「×」、80%未満の場合「△」、100%未満の場合「○」、100%以上の場合「◎」で判定。

※原単位は施工高/百万円当りで計算をしています。

評価

軽油	原因	発電機を常時使用する現場があり軽油の使用量が増加した
	是正	運転計画を見直し必要最小限の稼働に抑える
水	原因	水を使用して外壁を洗浄する現場があり水の使用量が増加した
	是正	作業計画を改善することで過剰な水使用を抑える

6. 過去5カ年の実績（事務所及び現場）

	本社 & 現場	2020.3月期	2021.3月期	2022.3月期	2023.3月期	2024.3月期
①温室効果ガス排出量 Kg-CO ₂	総 量	59,093	59,867	57,522	54,676	51,793
	電 力	14,891	16,926	15,343	16,360	14,938
	ガソリン	41,704	39,781	39,656	35,827	33,417
	軽 油	2,497	3,160	2,446	2,206	3,437
⑦廃棄物排出等排出量 t	再 使 用	480.5	491.5	846.2	266.4	781.6
	再生利用					
	熱 回 収	87.1	117.3	108.7	73.6	106.0
	最終処分					
	そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑨総排水量 m3	下水道	422	491	702	476	680

7. 環境経営計画と取組結果及びその評価、次年度取組内容

主要な各環境活動項目の内容は次の通りで、取り組み期間は2023年4月～2024年3月です。

取組項目			活動計画				責任者	評価
			2023.4-2023.6	2023.7-2023.9	2023.10-2023.12	2024.1-2024.3		
環境に配慮した 省エネ提案	建築部	目標	環境改善（省エネ提案） 目標：11件 結果：14件 達成率：127%				飯田	◎
		計画	3件	3件	3件	3件		
			省エネに繋がる提案営業をし受注する					
		取組結果	7件	3件	3件	1件		
		評価	昨年度に続き目標達成することが出来た（窓の断熱・LED化等）					
		次年度取組	断熱・省エネに関する情報を収集し、積極的に提案する。 SDGs目標：エネルギーをみんなに そしてクリーンに					
	設備部	目標	省エネ見積提案 目標：180件 結果：183件 達成率：102%				大道	◎
		計画	45件	45件	45件	45件		
			LED化、節水型トイレ、省エネエアコン等の提案をする					
		取組結果	44件	48件	45件	46件		
		評価	昨年度に続き目標達成することが出来た					
		次年度取組	積極的に省エネ提案をする SDGs目標：安全な水とトイレを世界中に					
	営業部	目標	省エネ提案、産業廃棄物削減の提案 目標：72件 結果：74件 達成率：103%				奥崎	◎
		計画	18件	18件	18件	18件		
			省エネ商品等を積極的に提案、採用をする					
		取組結果	24件	17件	20件	13件		
		評価	昨年に続き複数の省エネ補助金を活用する事ができたため、目標達成できた。					
		次年度取組	知識修得に努め、省エネ工事や省エネ補助金の提案を積極的に行う。 SDGs目標：住み続けられるまちづくりを					

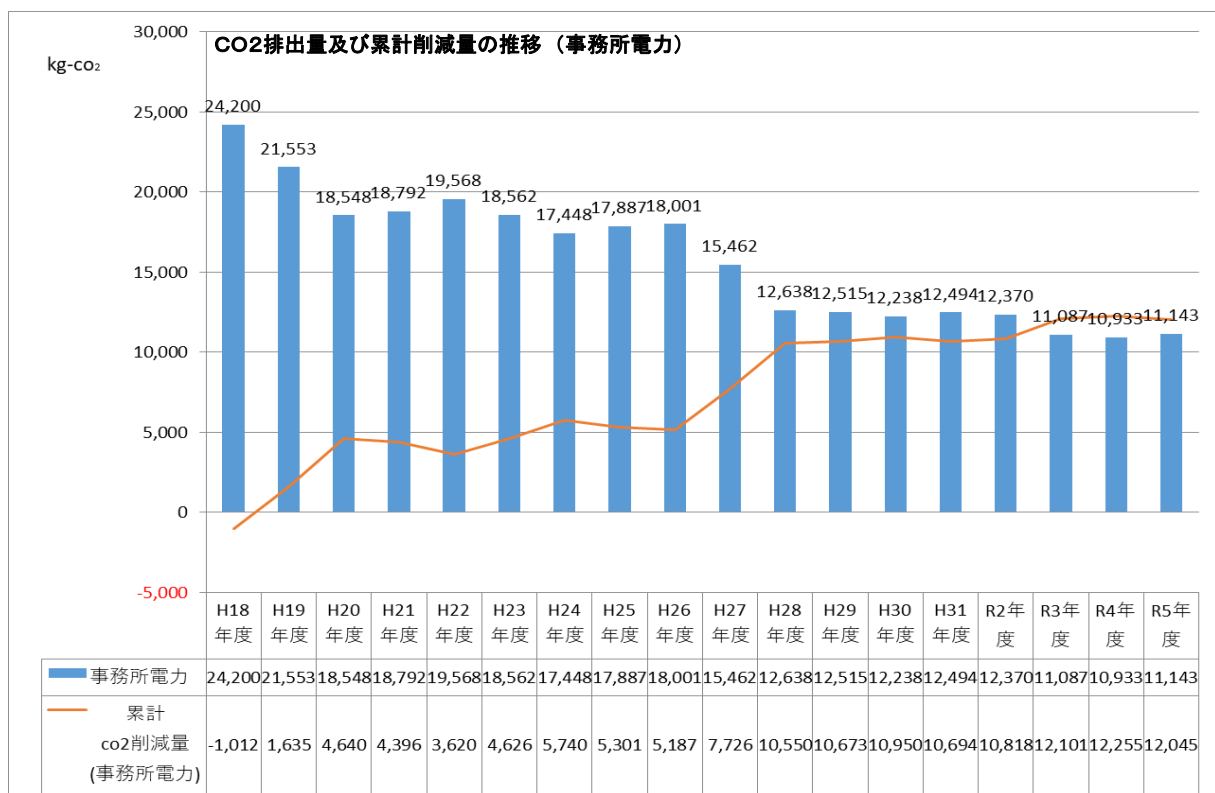
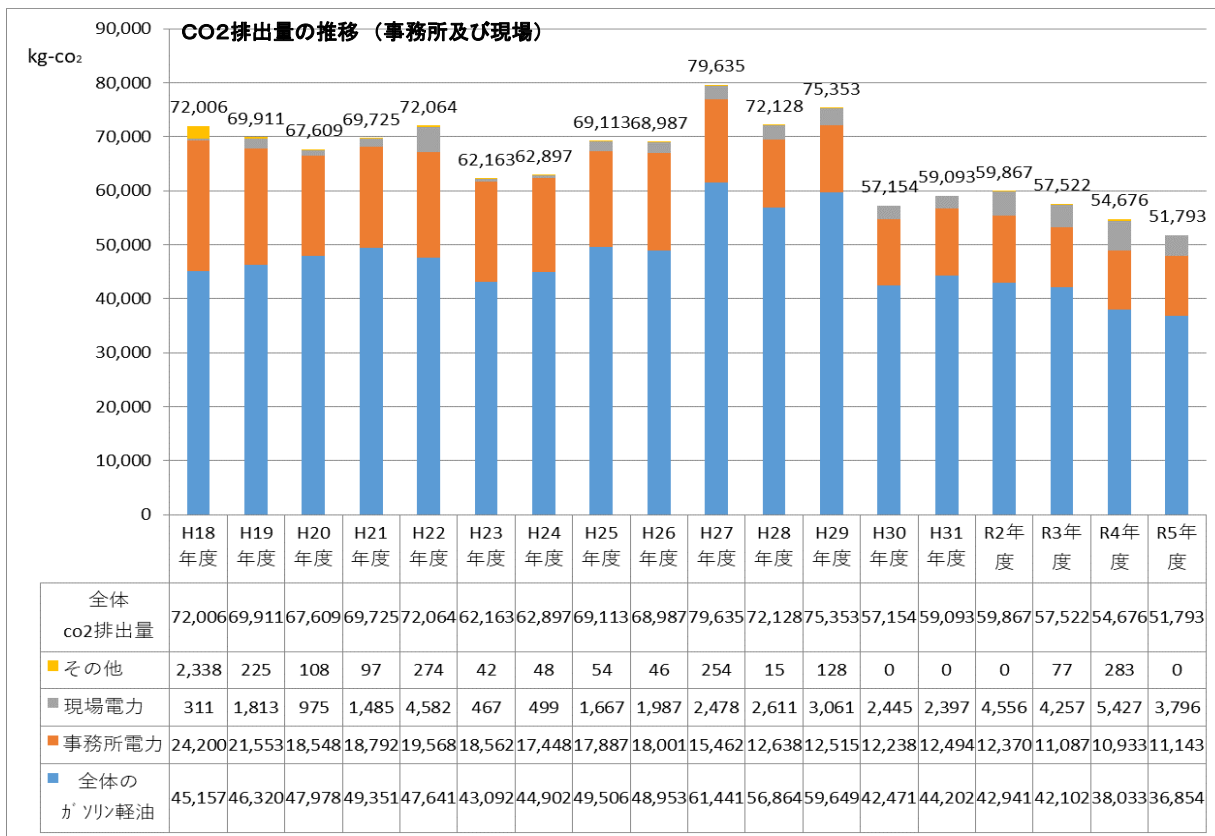
7. 環境経営計画と取組結果及びその評価、次年度の取組内容

主要な各環境活動項目の内容は次の通りで、取り組み期間は2023年4月～2024年3月です。

取 組 項 目			活動計画				責 任 者	評 価
			2023.4-2023.6	2023.7-2023.9	2023.10-2023.12	2024.1-2024.3		
グリーン購入の推進	建 築 部	目標	砕石・再生木質ボード等の採用 目標：58現場 実績：60現場 達成率：103%				飯 田	◎
		計画	砕石・再生木質ボード等を積極的に採用する					
		結果	13件	24件	11件	12件		
		次年度	再生材利用を継続して意識していく					
	設 備 部	目標	再生管材、再生砕石の利用 目標：28現場 実績：31現場 達成率：111%				大 道	◎
		計画	再生砕石を積極的に利用する					
		結果	8件	6件	9件	8件		
		次年度	再生材利用を継続して実施していく					
	営 業 部	目標	砕石・再生木質ボード等の採用 目標：62件 実績：63現場 達成率：102%				奥 崎	◎
		計画	利用可能な現場は、進んで提案営業を行う					
		結果	21件	14件	11件	17件		
		次年度	再生材についての知識を高め、積極的に採用する					
維持管理項目	産廃 削減 混合コンテナ	目標	リサイクル率 83%				鈴 木	◎
		結果	リサイクル率 88% 達成率 106%					
		活動内容	廃棄物の削減とリサイクル率の向上に取り組む					
	CO2 削減	目標	14,195kg-co2	28,390kg-co2	42,585kg-co2	56,781kg-co2	渥 美	◎
		結果	10,775kg-co2	25,444kg-co2	38,103kg-co2	51,793kg-co2		
		活動内容	早めのクールビズ (5月開始)	夏空調：27℃設定		冬空調：20℃設定		
			昼休みの照明を切り、使用していない電気を消す					
	グリーン購入の継続	活動内容	事務用品等の購入は必要性を検討、考慮した上で、環境配慮型製品の購入に努める				鈴 木	◎
	水削減	活動内容	水道栓の開け閉めはこまめにし、蛇口を確実に閉める				鈴 木	○
	地域貢献	活動内容	高校生キャリア講座	防災訓練	小さな親切美化運動 中学生職場体験		渥 美	◎

9. 参考資料

※H27年度は新社屋建設工事があり電力及びガソリン使用量等が例年と異なります。



10. 環境関連法規への違反・訴訟の有無

弊社に関連する環境関連法規等の一覧及びチェック表(文書・記録に掲載)の通り、遵守状況を
確認した結果、違反はありません。また、関係機関からの違反等の指摘及び利害関係者からの
訴訟等も過去3年間ありませんでした。

2024年4月1日
環境管理責任者 渥美 正義

チェック結果

環境法規制等の 名称/略称	規制内容			適用	実 施		文書・記録	確 認
	届出、作業等	適用範囲	適用条件		手続き・順守事項	実施日		
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	産業廃棄物	汚でい、廃油、廃プラ、建設 木くず、建設紙くず、建設機 械くず、金属くず、ガラスく ず及び陶磁器くず、がれき類、 ゴムくず、コンクリート破片など 「石綿含有（重量比0.1% 超）産業廃棄物」 「リース業に係る木くず及び 運送用パレットに係る木く ず」（平成20年4月1 日施行）	○	委託基準 1. 委託 先の許可確認		・収集運搬及び処分業 者の許可証の確認 ・中間処理場等の現地 確認	2024/3/1
				○	委託基準 2. 委託 契約の締結 3. 契 約書の5年間保存		・委託契約書の内容確 認（委託金額、産業廃 棄物の種類、性状、性 状等変更情報の伝達方 法等）	2024/3/1
					多量排出事業者確 認 1.前年度産業廃 棄物発生量が1,000トン を超えた場合処理計画 書を作成。翌年は報 告書を作成。			2024/3/1
				○	マニフェストの交付 1. 交付義務	随時	・適合マニフェストを使用	2024/3/1
				○	マニフェストの交付 ・回収・照合（発行後 B2,D票90日E票180 日以内） ・A,B2,D,E票保管(5 年間) ・未回収戻り票の報告 ・「交付状況報告」（前 年度実績、毎年6月30 日までに）	随時	・マニフェスト管理台帳に て回収日の管理、A票の 照合欄チェック。（回収 期間内に返送され、法 定事項記載確認済み） ・措置内容等報告書 （知事への報告）	2024/3/1
労働安全衛生法	解体・改修工事に伴う「 <u>石 綿等</u> 」の除去作業 （ <u>石綿障害予防規則</u> ）	石綿等の除去作業 （ <u>封じ込め、囲い込み作業 含む</u> ）	「石綿等（石綿及び重量 比0.1%超含有物）使用 建築物等」の飛散性及び 保温材等の解体、封じ込 め、囲い込みを含む除去作 業	○	・作業開始前14日 前までに労働基準監 督署に建築工事計 画書を提出	随時	作業計画 測定記録	2024/3/1
	廃棄物焼却炉、集塵機等 の設備の解体等の作業	焼却施設の解体作業	「廃棄物焼却炉（火格子 面積2㎡以上又は焼却能 力200kg/hに限 る）」の解体作業	○	・作業主任者の選定 ・作業環境測定（6 ヶ月以内ごとに1 回）健康診断（6 ヶ月以内ごとに1回） 等 ・ <u>記録の保存（40 年間）</u>	随時		2024/3/1
リサイクル法	解体工事、土工事、外構 工事、型枠工事、木工事	指定副産物	リサイクル法：土砂、コンクリート の塊、アスファルト・コンクリートの 塊、木材 国土交通省関係：建設発 生土、コンクリート塊、アスファ ルト・コンクリート塊、建設発生木 材	○	・発生抑制（施工方 法、資材選択） ・再利用、再生利 用、再資源化努力	随時	1. 再資源利用計画 書・実施書の作成（様 式1） 2. 再資源利用促進 計画書・実施書の作成 （様式2）	2024/3/1
建設リサイクル法	・解体工事-80㎡以上・新 築・増築工事-500㎡以 上・修繕・模様替工事-1 億円以上・その他の工作物 に関する工事（土木工事 等）-500万円以上	新築工事及び解体改修工 事	【特定建設資材】・コンクリート （プレキャスト鉄筋コンクリート版 を含む）、木材、アスファルトコ ンクリート	○	・発注者への書面によ る計画等説明・工 事着手する日の7日 前までに必要事項を 都道府県知事に届け 出・発注者へ書面によ る完了報告 ・分別解体等 ・再資源化等の促進 ・再生資源の使用	随時	・発注者への計画等説 明書と完了報告書 ・下請負者への告知書 ・知事への届出書（条 例規定）	2024/3/1
家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出 （作業所あるいは話所の家 電が対象）	特定家庭用機器	【特定家庭用機器】 テレビ（液晶・プラズマ 含）、エアコン、電気冷蔵庫 及び冷凍庫、電気洗濯機、 衣類乾燥機	○	小売店へ料金を支払 い引き渡す又は自治 体指定の方法で引き 取り依頼する	随時	領収証	2024/3/1
フロン排出抑制法	室内機・室外機の簡易点 検実施	第一種特定製品	業務用エアコン	○	3カ月に1回以上の実 施	随時	簡易点検チェックシート	2024/3/1
建築基準法	内装仕上げ・換気設備及び 天井裏等の工事	内装工事、空調設備工事	クロリポリホス、ホルムアルデヒ ド、石綿含有建材	○	・石綿含有建材の使用 禁止 ・クロリポリホス添加建材の 使用禁止 ・ <u>「建築物の土中」に関する 規制</u> ①内装仕上げの規制 ②換気設備の義務付 ③天井裏等の制限	随時		2024/3/1

11. 代表者による全体評価と見直し

1.見直し関連情報

項 目		確認	(評価・コメント)
1	エコアクション21文書	✓	「記録・文書」として作成しました。
2	環境目標及び目標達成状況	✓	CO ₂ 排出量目標を達成出来ました。これはオンライン会議やクラウドシステムが普及・定着することで、ガソリンの使用量が抑えられたためと考えられます。
3	環境活動計画及び取組実施状況	✓	省エネ提案、グリーン購入ともに各部門の目標を達成することができました。 特に省エネ提案意識は、営業・工事とも社員一人一人に定着されてきました。
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	✓	特に問題ありません。
5	外部コミュニケーション・対応記録	✓	記録に記載の通り。
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	✓	記録に記載の通り。
7	取引先、業界、関係行政機関、他外部動向	✓	特になし。
8	その他()		

2024年4月26日

環境管理責任者 渥美 正義

2.全体評価と見直し指示

今期はCO₂排出量目標達成することができました。コロナ感染症の影響で移動が制限され仕事のスタイルが変わりました。各所にてオンライン会議やクラウドシステムが普及・定着することで、ガソリンの使用量が抑えられたためと考えられます。また、環境に配慮した省エネ工事の提案は前年に続き、目標を達成することが出来ました。これは、営業部門のみならず、工事監督含め社員全員に環境配慮の意識が浸透したためと考えます。

今後もクラウドシステムなどのアプリ活用を推進し、さらに効率の良い現場管理を進め、環境に配慮した持続可能な発展が出来るようにして下さい。

見直し項目		変更必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有 ☐ 無 ☒	
2	環境経営目標・計画	有 ☐ 無 ☒	
3	環境経営計画・取組項目	有 ☐ 無 ☒	
4	実施体制	有 ☐ 無 ☒	
5	その他のシステム要素	有 ☐ 無 ☒	
6	その他(外部への対応)	有 ☐ 無 ☒	

2024年4月26日

代表取締役社長 高林 宏